

## 教科の目標

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 2 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 3 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 評価の観点・方法

- 1 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 2 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 3 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

- ・ 授業へ取り組む姿勢や授業を深め広げる発言など意欲的な姿勢。
- ・ 作文や感想文など。
- ・ 提出物、小テスト、暗唱など。
- ・ 定期テストなどで総合的に評価

## 特色ある学習方法

- ・ 討論を通して、話し合い活動を行い、深い話し合いとなるようにする。
- ・ 学び合い活動を活発的に行う。
- ・ スピーチや発表を積極的に行う。
- ・ 古典の暗唱を行う。

	学習すること	学習のねらい
一学期	<p>1 「学びをひらく」 ○いろいろな言葉にふれながら、学習の見通しをもつ</p> <p>2 「新しい視点で」 ○説明の工夫を捉えながら、ものの見方を広げる</p> <p>3 「言葉に立ち止まれ、言葉のもつ力を考える</p> <p>●読書を楽しむ 書写（硬筆）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩の朗読発表を行い、想像力表現力をつける。</li> <li>・ 漢字の組み立てと部首を理解する。（辞書）</li> <li>・ 読書の世界を広げる。</li> <li>・ 文章のまとまりに着目し、構成をとらえる。</li> <li>・ 文章に即して心情を読み取る。</li> <li>・ 文節や単語など言葉の単位を理解する。</li> <li>・ 楷書の縦書きを丁寧に美しく書く。</li> </ul>
二学期	<p>4 「心の動き」 ○言葉を通して、人の思いに寄りそう</p> <p>5 「筋道を立てて」 ○根拠を明らかにしながら伝え合う</p> <p>6 「いにしえの心に触れる」 ○古典の文章に出会い、現代とのつながりを考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の気持ちや行動情景描写などに注意して読み取る。</li> <li>・ 伝えたい事実や事柄についてわかりやすく書く。</li> <li>・ 話題をとらえて、話し合う。</li> <li>・ 仮名遣いに注意して音読する。</li> <li>・ 現代の文章との違いをとらえ、古文の特徴を知る。</li> <li>・ 故事成語の由来と意味・語句の種類と働きを理解する。</li> <li>・ 毛筆で楷書を丁寧に美しく書きことが出来る。</li> </ul>
三学期	<p>7 「価値を見いだす」 ○発想を転換し、身近なものの新しい側面に光を当てる</p> <p>8 「自分を見つめる」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展開を読み取り、人物の心情の変化を捉える。生き方について考える。</li> <li>・ 漢字の成り立ちを理解する。</li> <li>・ 感じたことをもとに鑑賞文を書く。</li> <li>・ 単語の分類について理解する。</li> <li>・ 詩の中の言葉や表現に注意して読み、自分のもの見方や考え方を広げる。</li> </ul>